

令和2年度

## 事業報告書

社会福祉法人さくら福祉会  
幼保連携型認定こども園  
水喰保育園

### 主な活動報告

国内外で人の移動が制限され、密にならないように、「個（孤）」でいることが推奨された。県内外で様々な行事やイベントが中止になった。保育業界ではいかに新型コロナウイルス感染症対策と子どもの健全な発育・発達を両立するかに議論が交わされた一年だった。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に多くの時間を費やししながら、日々の保育に重点的に取り組んだ。保護者との連絡・連携を大切にし、子どもの健全な成長・発達のための様々な支援業務に職員一丸となり取り組んだ。

運動会・夏祭り・お遊戯会の節目の行事も新型コロナウイルスの影響を受け、三密を避けながら、子どもの意欲を最大限に引き出すために様々な工夫に取り組んだ。

### 1. 基本方針

保育理念「子どもの幸福と子どもと関わるすべての人の幸福」を願いながら、保育方針「子どもを信じる、子どもの力を信じる、子どもの自ら学ぶ力を信じる」を旗印に、児童・保護者・職員・地域が相互的かつ協同的に関わり合い、子どもが主人公となるような生活の場・学びの場を提供できるような環境づくりを目指す。

#### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

教育・保育課程や全体の計画を基本とし園目標の5領域についての子どもの学びや職員の学びを深めていきたいと考える。

全体の計画→保育教育課程→年間計画→月間計画→週間・日案計画のサイクルで子どもの育ちの見通しを立て、保育実践、評価・反省、次の見通しの工夫を実践した。職員会議等で子どもの見方について様々な意見の交換を行った。

#### 〈2〉 保護者支援

保護者との信頼関係をつくり、よりよい子育て・子育ての実現を目指す。

保育者の負担軽減を図り、3歳児以上クラス連絡帳の自由記述ノートをなくした。

連絡帳を中心として、その日の出来事、気になること、行事等の相互の連絡に努めた。できるだけ保護者が前向きに子どもと接することができるような書き方に努めた。

今年度は感染症の発症が抑えられた。

### 〈3〉 地域の子育て支援事業

町の健診に職員を派遣し、子どもの育ちや親の関わり方についての課題等を町職員等と共有する。

町が実施する子育て支援業務に派遣した。子育てに携わる保護者の苦勞や悩み等に対応し、子どもの発達に係る現状の把握等に努めた。

### 〈4〉 保育者育成

乳幼児の発達の道筋や連続性をとらえ、子ども一人一人のあそびを協同的に展開しながら、育ちの本質をくみ取ることができる保育者としての専門性を追求していく。

日々の保育について適宜話し合いがもたれた。季節の行事や三人行事を通じて子どもの成長について保育者としての関りに最大限努めた。

児童票の作成を通じて発達の道筋等を客観的にとらえることに努めた。

今年度はコロナウイルス対策のため処遇改善に関わるキャリアアップ研修の参加を控えた。

### 〈5〉 子どもの育ち

教育・保育内容は今の時代を生きる子どもたちの社会背景や環境を見据えて、人を育てるという根本的な考え方を常に学び、実践できる保育者を育てる。

園内研修として、毎月開催される職員会議において入所児童の課題等について話し合いをもった。家庭環境や保育状況の関連性について現場目線での専門性の追求に努めた。

### 〈6〉 環境整備

旧園舎敷地（第2園庭）の環境整備

保育に関する遊具や用具の整備・点検に努めた。

2. 入所児

童

月別受け入れ児童数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
0歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳児	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46
2歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
3歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
4歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
5歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
計	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	310

3. 開園時間

午前7時～午後7時

4. 職員配置

職 種	員 数	常 勤	非常勤	備 考
園長	1	1		
副園長				
主幹保育教諭	1	1		
保育教諭	7	7		
栄養教諭				
調理員	3	1	2	非常勤：保育補助
事務職員	1	1	1	
バス技能員	1		1	

## 5. 運営方針

〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の会議を勤務時間内に開催します

会議名	頻度	主な内容
職員会議	月1回	児童処遇改善検討（個別ケース検討）、保育内容の充実を図る検討、園として取り組むべき課題、給食運営（乳児の離乳食進行検討、児童の喫食状況の確認）、

各種課題や問題等について話し合いがもたれた。

〈2〉 各種担当を設置し、職員全員が運営します

係名	職務内容・役割
交通安全	児童の交通安全教育に係る業務
避難訓練	児童の防災訓練にかかる業務
お誕生会	児童のお誕生会に係る業務
検食・会議録	給食の検食及び職員会議に係る業務
保育教材	保育教材の発注・管理に係る業務
保健衛生	児童保健衛生に係る消耗品および備品の管理、感染症に係る業務
視聴覚教材	お遊戯用 CD 等の発注・管理業務
遊具安全点検	遊具の安全点検に係る業務
厚生係	職員厚生に係る業務

各種係がそれぞれの業務を責任をもって遂行した。

〈3〉 年間行事（主なもの）

運動会：9月27日	お楽しみ保育：7月11日
夏祭り：7月27日	パクパク教室：
たいまつ祭り：	親子遠足：
お遊戯会：12月5日	保育参観日：1月16日
卒園式：3月14日	お別れ遠足：3月26日

〈4〉 給食・食育運営方針

- ・友達や身近な大人と親しみをもって、楽しく食べる
- ・日常の生活に密着した食育を深く考察し、実践する
- ・郷土の食材・調理方法に親しむ

日々の給食やおやつ、毎月のお誕生会食や行事食の充実に努めた。

〈5〉 保健計画

園児健康診断・歯科検診	年2回
保健便り	随時
保育者健診	9月
保育者検便	毎月
園児への保健指導・取組	手洗いうがいの指導
流行が予想される感染症	・6～9月：手足口病、ヘルパンギーナ、とびひ ・11～3月：インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎、RSウイルス、ノロウイルス ・通年：溶連菌感染症

毎日の手洗い・うがいの励行に努めた。東北町内や近隣の感染症発生状況の把握に努めた。今年度は園内にて感染症のお知らせメールは発信されなかった。

園内感染症発生状況（その他）


6. 危機管理

〈1〉 防災について

避難訓練計画、上級救急救命資格取得、自衛消防組織、

自主防衛組織を編成し、毎月避難訓練を実施した。

〈2〉 けが事故防止について

事故防止策、安全点検等の実施

自主防衛組織を編成し、毎月避難訓練を実施した。

〈3〉 防犯について

不審者対策訓練の実施、不審者情報等の収集・周知

6月に不審者訓練を実施した。町等と不審者情報等交換を通年で行った。

7. 実習生・中高生の受け入れ

保育者育成と研修計画

今年度は中学校・高等学校の職場体験学習の依頼はなかった。

8. 地域交流計画

地域に根差した保育の中で、積極的に地域に出かける

世代間交流、異年齢交流等

福田商店に七夕の飾りつけを行った。ハロウィーン時には小泉商店さんにお菓子を頂いた。

9. 小学校・中学校との連携計画

小学校、中学校の行事に参加し、交流を深める

東北町保小中連絡協議会をつうじて小学校や中学校との情報交換や交流を行った。